

富山高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	英語表現Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0049		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	2	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	英文法・語法 SWing				
担当教員	金本 英朗				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 授業で学習する文法事項について、その内容を正確に理解することができる。 与えられたテーマについて、自分の考えを十分相手に伝えるよう、話したり書いたりすることができる。 					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)		
文法知識	授業で学習する文法事項について、その内容を正確に理解することができる。	授業で学習する文法事項について、その内容を概ね理解することができる。	授業で学習する文法事項について、その内容をほとんど理解することができない。		
話すこと	与えられたテーマについて、自分の考えを十分に相手に伝えるように話す(発表・やりとり)ことができる。	与えられたテーマについて、自分の考えを概ね相手に伝えるように話す(発表・やりとり)ことができる。	与えられたテーマについて、自分の考えをほとんど話す(発表・やりとり)することができない。		
書くこと	与えられたテーマについて、自分の考えを十分に相手に伝えるように書くことができる。	与えられたテーマについて、自分の考えを概ね相手に伝えるように書くことができる。	与えられたテーマについて、自分の考えをほとんど書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	この授業では、文法事項について学ぶ。また、文法知識を活用しながら与えられたテーマについて表現する(話す、書く)活動を行う。				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 文法の学習は、文法事項について知識を深めるとともに、対話活動もすることで文法知識の定着を図る。 与えられたテーマについて表現する活動(プロジェクト学習)では、パソコンを活用して調べたり、辞書を活用して英文を作成したりする。 授業外で予習・復習を十分にすることが望まれる。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業には必ずパソコンと辞書を持参すること。 私語やスマホの使用に注意し、自立した態度で授業に臨むこと。 評価が50点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められたものは、その評価を50点とする。 				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	授業の概要や目的について理解する 自己紹介、英語を使ったウォームアップ	
		2週	Unit 5 仮定法 プロジェクト学習 1-1	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 導入	
		3週	Unit 5 仮定法 プロジェクト学習 1-2	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 準備	
		4週	Unit 5 仮定法 プロジェクト学習 1-3	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 準備・練習	
		5週	Unit 9 前置詞 プロジェクト学習 1-4	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 リハーサル	
		6週	プロジェクト学習 1-5	プロジェクト学習 発表	
		7週	Unit 9 前置詞 プロジェクト学習 1-6	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 作文	
		8週	中間試験	成績評価・確認	
	2ndQ	9週	答案の返却 Unit 10 動詞の語法 1	解答と解説 当該文法事項について理解し、表現することができる。	
		10週	Unit 10 動詞の語法 1 プロジェクト学習 2-1	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 導入	
		11週	Unit 11 疑問詞 プロジェクト学習 2-2	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 準備	
		12週	Unit 11 疑問詞 プロジェクト学習 2-3	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 リハーサル	
		13週	プロジェクト学習 2-4	プロジェクト学習 発表	

		14週	文法 まとめ プロジェクト学習 2-5	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 作文
		15週	期末試験	成績評価・確認
		16週	答案の返却	解答と解説
後期	3rdQ	1週	Unit 13 接続詞	当該文法事項について理解し、基礎・応用問題を解くことができる。
		2週	Unit 13 接続詞 プロジェクト学習3-1	当該文法事項について理解し、基礎・応用問題を解くことができる。 プロジェクト学習 導入
		3週	Unit 14 比較 プロジェクト学習3-2	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 準備
		4週	Unit 14 比較 プロジェクト学習3-3	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 準備・練習
		5週	Unit 15 動詞の語法 2 プロジェクト学習3-4	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 リハーサル
		6週	プロジェクト学習3-5	プロジェクト学習 発表
		7週	Unit 15 動詞の語法 2 プロジェクト学習3-6	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 作文
		8週	中間試験	成績評価・確認
	4thQ	9週	答案の返却 文法 振り返り 1	解答と解説 当該文法事項について理解し、表現することができる。
		10週	文法 振り返り 2 プロジェクト学習4-1	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 導入
		11週	文法 振り返り 3 プロジェクト学習4-2	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 準備
		12週	文法 振り返り 4 プロジェクト学習4-3	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 リハーサル
		13週	プロジェクト学習4-4	プロジェクト学習 発表
		14週	文法 振り返り 5 プロジェクト学習4-5	当該文法事項について理解し、表現することができる。 プロジェクト学習 作文
		15週	学年末試験	成績評価・確認
		16週	答案の返却	解答と解説

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	作文・発表 他	提出物	相互評価	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0